

子宮頸がんは、正しい知識と十分な理解を！

子宮頸がんワクチンに関する 各種お知らせ

**ヒトパピローマウイルス感
染症の予防接種に関する相
談窓口を設置**

子宮頸がん等を予防する目的でヒトパピローマウイルス感染症の予防接種（HPVワクチン接種）が行われていますが、当該ワクチンを接種後に生じた症状により、日常生活・学校生活に支障を来す事例も報告されています。そのため、山梨県にHPVワクチン接種後に症状が生じた方に対する相談・支援体制の充実を図るため相談窓口を設置されました。

■設置部署

・医療、生活、救済制度等に関する相談受付

山梨県福祉保健部

健康増進課（県庁内）

・教育、学校生活等に関する相談受付

山梨県教育委員会教育庁

スポーツ健康課（県庁内）

■受付時間

月曜日～金曜日

の有効性とリスクを十分ご理解のうえで接種のご判断をお願いいたします。

■問い合わせ

保健課健康増進担当

☎ 2314310

子宮頸がん等ワクチン接種後の副作用に関する救済制度について

平成25年3月31日までに、市の助成により、ヒトパピローマウイルスワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンのいずれかを接種した方のうち、接種後に何らかの症状が生じ、医療機関を受診した方は、接種との関連性が認定されると、医療費・治療手当が支給される場合があります。

お心当たりのある方は、具体的な請求方法等についてお問合せください。

※支給対象となるのは請求した日から遡って5年以内を受けた医療に限られます。

■問い合わせ

独立行政法人

医薬品医療機器総合機構

救済制度相談窓口

☎ 0120-149-931

（フリーダイヤル）

輝く女性を応援！ 女性団体連絡協議会レポート⑧

ともじぎぶ、ともこステップアップ

韮崎生活学校

韮崎生活学校は、昭和53年の設立以来、日常生活や地域の中での悩みや疑問を取り上げ、みんなで話し合いながらテーマを決め、主婦の視点で調査研究、学習を積み重ね実践活動を通して、行政や事業者、関係団体など対話集会を持ち解決するという手法で活動を続けてきました。

最近の主な活動は、子どもの食育推進のために手作り紙芝居の実演、ノーレジ袋推進キャンペーン、消費者被害防止活動、災害時に備えての非常食調理実習やキャンドル作り、生ごみのひと絞り運動、食品ロス削減運動など多岐にわたる課題に取り組みながら、時には楽しみの研修旅行や市議会傍聴、食事会などを実施しています。

また、その時々々の社会状況に対応出来る知識や心の糧を得られる工夫をしながら、全国や県内の同志仲間との交流会などを通して、情報交換や課題の共有などにも努めています。

これからも、メンバー皆で



ステップアップをしながら、行政機関との協働体制をつくり、そして意見を表明出来る機会を多く得ながら、少しでも地域社会を良くするために社会参加を行動化して、課題解決に向けての活動が続けられるよう希求していきたいと考えています。

ぜひ一緒に学びませんか。男女年齢を問わずメンバーを募集しています。

■問い合わせ

韮崎生活学校（今福）

☎ 25-5264